

プログラム番号

09010

平成21年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科		
②学長名	吉田 浩己		
③所在地	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	健康科学専攻 教授	
	担当者氏名	秋葉 澄伯	e-mailアドレス akiba@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp
	電話・FAX番号	電話099-275-5275 FAX099-275-5299	
⑤ホームページURL	http://www.kagoshima-u.ac.jp/index.shtml		
⑥大学院在籍留学生数	166人(うち、国費留学生68人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	アジア・イスラム圏諸国の公衆衛生専門家養成
②プログラムの形態	博士課程(4年間)
③交流形態・受入体制	プログラム実施大学が単数
④実施研究科・専攻	医歯学総合研究科 健康科学専攻
	(所在地) 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
⑤連携大学・研究科・専攻名	
⑧受入れ学生数	10人(うち研究留学生優先配置人数:3人) (うち日本人学生数:3人)
⑨担当教員数	合計41人(うち専任:41人、兼任:0人、非常勤:0人)
⑩研究科長(代表者)名	所属部局・職名 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・研究科長
	研究科長名 松山 隆美

【3. プログラムの内容】

本プログラムは、アジアの途上国、特にイスラム圏諸国からの主に女子留学生を対象とした、公衆衛生専門家・指導者を養成する博士課程のプログラムである。多くの国で、母子保健をはじめとする公衆衛生の推進に女性のワーカーは重要な役割を果たしてきた。例を挙げると、イランのBehvarzワーカー、パキスタンのRural Health Centerに配置された女性保健師、インドの准看護師 (Junior Public Health Nurses) やAnganwadiと呼ばれる小児保健センターで働く女性ワーカーなどである。ところで、今日の途上国の公衆衛生・環境医学の課題は急速に変化しつつあり、これまでの母子保健、急性感染症・寄生虫感染対策などから、今後は1960年代の日本のように慢性疾患を対象とした公衆衛生や環境・産業衛生などの対策も求められる。また、最近の公衆衛生問題には国際的な影響を持つものも少なくなく、国際感染症、グローバルな環境汚染など一国では対処できない国際的課題も増えている。特に喫緊の課題として、インフルエンザのパンデミックなど呼吸器感染症の国際的な流行の可能性、グローバルな環境汚染とそれに伴う健康影響などが挙げられる。

これらの問題に対処するためには最新の高度な専門的知識・技術、広い視野、優れた対応能力、研究マインドを持った公衆衛生専門家・指導者を育てることが必要である。特にこれまで母子保健対策などを担ってきた女性のトレーニングが重要である。しかし、近年、アジア諸国においても女性の社会進出は著しいとはいえ、一部の国では女性が高度な教育を受ける機会は限られており、公衆衛生の分野でも例外ではない。従って、本プログラムは、公衆衛生の発展に資するだけでなく、女性の社会的地位向上にも貢献するものである。

本コースは英語による教育プログラムであり、イスラム圏を中心としたアジア諸国からの公衆衛生マインドを持つ女子留学生を対象に、生命科学から社会医学までの広い視野と深い知識を持ち、国際的公衆衛生学・環境問題に対処できる公衆衛生専門家を育成しようとするものである。教育・指導には医歯学総合研究科の教員のみならず、農学部、水産学部、多島圏研究センターなどの教員も非常勤講師として参加する。本コースの主な開講科目は以下のとおりである。

Environmental and Public Health : 公衆衛生学、衛生学などを専門とする教官によるウイルス・細菌・寄生虫の検出などに必要な基礎的技術、重金属や電離放射線・非電離放射線などの環境測定に必要な基礎的技術・知識を習得するための講義と実習、我が国の公衆衛生・環境衛生の現場の見学などを行う。

Community-based Prevention : 本研究科で開催される JICA 研修コースの一部を利用しながら、国際保健、母子保健、公衆衛生、環境医学に関する講義・演習を行う。

Epidemiology and Preventive Medicine : 疫学、予防医学の基礎的知識を学ぶとともに、生活習慣病、感染症、環境要因、リスク評価などを学ぶ。

この外の主な科目は以下のとおりである。

oral health promotion、introduction to occupational and environmental medicine、medical system informatics、data analysis using R、data analysis using R and EPICURE、Ethics and science、life-science English、life-science writing in English、medical research lectures、

なお、本プログラムは希望する日本人学生も対象としている。本コースに日本人学生を入学させ、外国人留学生とともに公衆衛生学を学ぶ機会を与えることは、我が国の国際貢献にとって重要な人材養成にもつながると考える。

